

には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

事業所名	グループホーム いこい
日付	平成18年3月1日
評価機関名	有限会社 アウルメディカルサービス 評価調査員：介護経験歴6年 大学教員
自主評価結果を見る	
評価項目の内容を見る	
事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)	

### 外部評価の結果

<p>全体を通して(特に良いと思われる点など) (記述式)</p> <p>特養でありがちな集団を対象とした画一的な日課は一切ありません。トイレ、料理、洗濯物干し片付け、散歩などの生活リハビリが入居者の意欲や主体性を大切にしながら自然に取り入れられています。</p> <p>手間がかかったり不確実性のあることでも、入居者のためになることや喜ぶことには積極的にチャレンジし、生活の改善を行っています。そのため生活は利用者本位で非常に柔軟です。風呂は毎日入れ、晩や夕方など希望の時間に入れます。酒や喫煙も他人の迷惑にならない程度で可能です。玄関は解放され、入居者と約束した安全な範囲で自由に散歩することができます。ただし、リスクマネジメントについては充分考慮されています。</p> <p>入居者と職員の関係が良く、職員の明るく思いやりのある声かけや入居所本位の柔軟な生活の構築が、入居者の感情表現や生活リハビリへの取り組みを自然に促しているようです。職員どうしの仲も良く、苦労はあってもやりがいを感じ楽しみながら働いていることが伝わってきます。</p> <p>管理者がおおらかな性格であり施設的でない「普通の生活」に対するしっかりしたビジョンを持っていることがこのホームの良さの基であるように感じました。</p> <p>経営者は現場のケアは管理者を信頼して完全に任せており、現場から設備やケアのスキルアップ改善のための費用を求められたときは快く認める度量の深さを持っています。</p>
<p>改善の余地があると思われる点 (記述式)</p> <p>介護用ベッド以外は何でも持ち込み可ですが、入居者の個室の家具が乏しくやや寂しいかもかもしれません。ホームが積極的に改善すべきことなのか分かりませんが自然と家具が増えるといいと思います。</p> <p>「普通の生活を大切に」という基本ができていない非常に良いホームだと思いますが、同じように頑張っているホームでも入居者と職員の会話の調子やケアプランの立て方等で微妙な違いがあります。日々介護でマンネリ化を感じたときは他のホームを見学することで改善点が見えるかもしれません。</p>

### I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
記述回答	(記述式で回答) 理念として、 「職員と入居者がともに生活する、入居者と向き合う、自発的な行動を待つ、日常の些細なことを見逃さずに気づく」を掲げています。  ホームでは障害を持って「普通の生活」を送ることを追求されています。集団を対象としたリハビリ体操や時間で区切られた日課はほとんど存在しません。トイレに自力で行くことや調理、洗濯物たたみなどの生活リハビリが本人の意欲・意向に沿って自然に行われています。		

### II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
記述回答	(記述式で回答)  寄り添いの時間の中で、出来るだけ入居者の話を聞いてあげる様にしている。また日中、玄関に鍵を掛けないで、いつでも外に出られる様にしている、ストレスを貯めさせないように心掛けています。		

### III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

### III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせたい入浴支援		
20	ブライトを大切にしたい整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物の支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
記述回答	(記述式で回答)  ホームでは特養にありがちな決まったスケジュールで全員を対象としたリハビリやレクリエーションは一切行われていません。それに代わって、リハビリのためのリハビリではなく、トイレに自分で行くこと、料理、洗濯物干し片付け、散歩など、これまでの生活の自然な延長としての自然な生活リハビリが行われています。生活リハビリは、各自の残存能力に応じてスタッフが支援し、無理強いやルーチンとしてではなくその日その日の入居者の意欲に応じた主体性を尊重したもので行われています。職員は優しく思いやりのある声かけを通して入居者の意欲を引き出しています。ホームでは危険や他の入居者にどうしても迷惑になること以外は生活を縛る規則をできるだけなくそうという努力が行われており、それが入居者の主体性の確立につながっていると思います。		

### IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か		
記述回答	サービスの質の向上に向け、研修に意欲的に参加しています。職員間の率直な意見交換を大事にしています。また、手間やトラブルの可能性(飲酒・喫煙・重度の認知症の方の喫茶店への訪問など)があっても入居者のためになると判断したことに対しては積極的に取り組み、その過程で顕在化した問題点に対しては検討し適切な対応を心がけています。そのことによって、職員の思い込みによる入居者の生活の束縛を廃し、少しでも入居者が生き生きとした生活を送れるよう日々改善に努めています。入居者の認知症の現れ方や程度の特性をよく観察し、適切な対応の仕方を心がけています。		